

目標達成計画

作成日: 令和 7年 12月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		手作りおやつが発案は色々出ていたが、計画倒れになり思うようにできなかった。	定期的におやつを手作りし、それぞれ出来ない部分は利用者間で助け合い協力しながら作業を行う過程で満足度を上げ家庭的な雰囲気を感じていただく。	1~2か月に1回の頻度で利用者様に食べたいおやつの要望を伺い、能力に応じたバランスの良い席の配置や作業工程、時間配分などの計画を立てる。作業中は怪我や事故がないよう細心の注意を払いながら楽しく、家庭的な雰囲気づくりを心掛け支援する。	24ヶ月
2		外出拒否や外に出るのが億劫で、外出の機会が少ない方は、生活意欲も乏しく外観に目を向けられる場面があまり見られない。五感からの刺激が少なく活動量も少ないので認知症状が急激に悪化するリスクがあり、対応を見直す必要がある。	特に日頃より外出の機会が少ない方に対して又、天気や気温の影響で外出できない日が続く際は外の環境に目を向けていただき、五感に働きかけて認知症の急激な進行を防止する。	雨、風が強い時はホールのガラス窓より外の景色(空、山や木々、植木、花、人の往来他)を見ていただき意図的に言葉を引き出し感動を誘う。窓を開けられる日は風を感じたり音を聞いていただいたりして脳の活性化を図る。窓から見える位置にミニ庭園を造る。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月